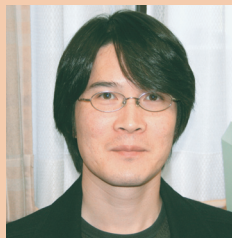


山森 哲雄 講師

【やまもり てつお】

東京都出身 東京大学大学院経済学研究科博士課程修了
博士（経済学）
日本学術振興会特別研究員PD、群馬工業高等専門学校
専任講師を経て現職。



- 基礎ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ
- ゲーム理論

研究テーマ

私の研究分野は「ゲーム理論」です。ゲーム理論とは、複数の意思決定主体の間で生じるさまざまな戦略的関係を分析する学問です。戦略的な状況の例としては、将棋やチェスなど遊技としての「ゲーム」を想像すれば分かり易いでしょう。こういった世界では、相手の手の内を読んで、自分にとって最善の手を考えなくてはなりません。しかし、相手の出方を互いに読みあうという状況は、勝ち負けのはっきりした遊戯の世界だけでなく、私たちの日常生活にもありふれた状況なのです。私たちの日常生活は、友人、恋人、同僚、家族など、常に他人との複雑な人間関係のなかで営まれています。こういった状況では、相手の考えや意図を読まずに自分がどういった行動や発言をしたらいいのか分かりません。相手の事を読み間違えると大変ですね。友人から絶交されたり、失恋したりするかもしれません。また、「意思決定主体」の単位を企業や国家などの組織に広げて考えてみてください。すると、企業間や国家間の競争・協調関係など、さまざま社会的関係が戦略的な関係にあることが分かります。ライバル企業よりも製品を安く販売すべきか、もっと自国の軍備を増強すべきかなどは、すべて相手の企業や国の出方を読まなくてはならないのです。このような戦略的関係を分析するゲーム理論は経済学をはじめ社会学や政治学など多くの社会科学で応用されています。とくに、経済学にとってはいまや中心的な分析手法であると言えるでしょう。ゲーム理論に少しでも興味を持った学生はぜひ私の講義を受講して下さい。

担当科目&ゼミナール

私が担当している講義は「ゲーム理論」のほか「基礎ミクロ経済学Ⅰ&Ⅱ」と「ゼミナール」があります。ミクロ経済学は市場の資源配分メカニズムについて研究する学問です。社会の富を人々の間でどのように分け合うのが望ましいのかについて、その考え方の基礎を学びます。ゼミではゲーム理論の入門書を輪読しています。ゼミ生には各章を分担して報告を行ってもらいます。ゲーム理論について理解することはもちろんですが、コミュニケーション能力、とくに自分の意見や考えを相手に論理的に伝えるという点に重点を置いて指導をしています。

ゼミ生のひとこと



山森先生はミクロ経済学・ゲーム理論を専門としている先生です。その中では、個々の経済主体やその主体の行動にスポットライトを当て、それを分析します。ゼミではゲーム理論を扱っており、プレイヤーの意志決定を分析しています。難しい内容も丁寧に解説してくれます。若い方ですが、知識も広いのでお助めの先生です。

山森ゼミ1期生 萬井 大輝

ゲーム理論ってなに？